

第 121 回番組審議会 2023 年 5 月 19 日(金)開催

[出席委員]

井野瀬 久美恵 委員長、小松 陽一郎 副委員長、
北川 チハル 委員、高見 孔二 委員
原 美和 委員、星野 美津穂 委員、
山浦 一人 委員、松山 秀明 委員
[欠席] 橋爪 紳也 委員

[当社側出席者]

小林 正太郎 代表取締役社長
三好 康嗣 取締役 編成局長
西村 鉄史 編成部長
山下 めぐみ 事務局長

議事の概要

- 1) 小林社長より、事業の概況、新番組の進捗状況など報告
- 2) 三好編成局長より、春編成について説明
- 3) 審議の課題番組について、委員からのご意見・ご質問をいただき、それに対して制作側から回答

審議課題

『登山で頂きメシ』

[2 0 2 3 年 5 月 1 日(月) 22 時 00 分～22 時 30 分放送]

各委員からの主なご意見

評価すべき点

- ・山の「頂き」と食事を「いただく」という言葉を掛け合わせたようなシャレの効いたタイトルが良かった。登山と食の組み合わせは面白い。
- ・本格的な登山ではなく、あえて低山にターゲットを絞ってその頂きでメシというシンプルな企画が良かった。
- ・ルートや時間、距離などといった情報がきちんと示されていて、分かりやすいので、自分でも登れそうな気がする。共感をもって観ることができた。
- ・出演者の平山祐介さんの人柄がにじみ出るような声や、言葉の表現もとても良く、家族連れとの交流も微笑ましかった。レギュラーは無理でも、今後平山祐介さんを準レギュラーのような形にされてもいいのではないか。

- ・アウターや靴などの紹介も、嬉しい情報であった。
- ・花の名前のハナノアプリも初めて知った。このような情報を今後もどんどん紹介していけばよいのではないか。ぜひ紹介してほしい。

気になった点

- ・「なぜ低山を登るのか」という説明が全体的に弱かったように感じた。
- ・そもそも「低山」の定義が何なのか気になった。
- ・聞こえてきた鳥の声、出演者が言っていた鳥の名前は間違っていたのでは？
鳥の名称など誤認ともとれる発言については、ナレーションやテロップなどでフォローする必要があるのではないか。
- ・毎回、出演者が異なるため、番組としての一貫性を確保することが難しいのではないか。
- ・出演者をある程度固定化していった方が、視聴者の安心感も増すのではないか。
- ・ナレーションが多いのではないか（せっかくのいい景色なのに、そこまで説明する必要のないのではないか）。
- ・山登りの映像は、登山者の目線カメラからの映像を少し入れるなどの工夫が必要。
- ・番組の個性を示すとともに、話題性を高めるべく、構成や演出の工夫が必要。
- ・「頂きメシ」がポイントなのに、なぜそれを最初に見せてしまうのか。それは一つの楽しみどころなので、後半まで隠すべきである。
- ・「低山」であっても、油断すると怪我や事故につながるため、注意を促すようなシーンがあってもよいのではないか。マナーについての蘊蓄が多少あってもいいのかもしれない。
- ・今回は晴れていたが、「雨」だった場合はどうなるのかなど、「雨だった場合の低山登山」も気になった。
- ・他局でも同様の番組があるので、自治体や企業とのコラボなど、スカイA独自の企画で多チャンネルとの差異化が進めばもっと良くなると思う。コンテンツビジネスの多様な展開に期待したい。

こうした各委員のご意見を弊社制作者とも共有し、今後の番組制作の参考とし、更なる番組の質の向上に努めたいと思います。